

平成 24 年度自主研究結果報告

平成 25 年 5 月 27 日

(経緯)

平成 20 年に閣議決定された国土形成計画の主要施策の一つである「シームレスアジアの実現」の推進のため、平成 23 年度に東アジアにおける人流データの整備方策の検討を開始したが、その 2 年度目として実施したものである。

(2 年度目検討方針)

1 年度目に行った次の作業のレビューを行ったうえ、データの量的・質的向上をめざして作業を進め、第 2 版のデータ集の刊行を行った。

- ・ケーススタディ対象国として交流人口の最も多い韓国を選定。
- ・日韓の国境を超える交通機関及びゲートウェイとなる空港、港から 2 次目的地までの日韓の乗り継ぎ公共交通機関データの最新状況を調査。
- ・各乗り継ぎルートごとに交通機関の所要時間、頻度、料金等を総合的に勘案して有意な経路を数ルートに絞り込み。
- ・分かりやすさに配慮しつつ、絞り込み結果の表示方法を検討。必要に応じ地図を添付。
- ・日韓の公共交通機関の利用方法、新規開設交通機関に関する情報の付加。特に韓国については個人旅行者の利用を念頭に置き関連情報を付加。
- ・以上を冊子としてまとめ、販売。利用者の意見等をフィードバック。

(2 年度目改善点)

- ・韓国国内の 2 次目的地数の拡大。
地域間交流の基礎データとするには、目的地数の比率が日本に偏っていた。
- ・日本国内データの CD 化。
日本人が韓国に持ってゆく冊子と考えると「日本国内データは不要であり重くなるだけ」との意見に対応。
- ・日本国内データの韓国語翻訳及び CD 化。
「日本国内データを使ってもらいたい韓国人が理解できるように」との自治体意見に対応。
- ・構成の合理化、明確化
『韓国ひとり歩き』という冊子に日本国内データが含まれることから、分かりづらい」との意見に対応。後半は「日本ひとり歩き」であると明示した構成に変更。
- ・日本国内の JR 利用方法のコラムを新設、韓国語化。
日韓の鉄道の列車種別・切符種別の体系が異なることから導入。

- ・韓国内の「食の目的地」数の拡大。
情報が入手可能になったことによる。結果、地域偏在が解消された。
- ・韓国国内の食事情のコラムを新設。
「食の目的地」数の拡大に対応した措置。関連情報の充実が目的。
- ・フリーペーパーの新刊案内コーナーでの広告掲載を新たに行った。
韓国語学校等、語学関係者への宣伝に加え、新大久保で発行されているフリーペーパーでの宣伝を行い、広く周知を行った。

(3年度目以降の作業予定)

1. 韓国国内周遊のための交通情報強化。
 - ・高速バスのターミナル（約100箇所）の位置等表示（高速バスターミナルから近傍市外バスターミナルの徒歩移動可能性含む）。
 - ・鉄道駅から徒歩移動可能なバスターミナル一覧。
 - ・交通の案内窓口情報の強化。
2. 日本国内周遊のための交通情報強化。
 - ・日本国内の私鉄、都市間バスに関するコラムの新設。
3. 日韓の人流基盤整備状況の数値化、グラフ化。
4. データの更新体制の整備方策（4年度以降を展望し）。
 - ・地方自治体、国関係部局への働きかけ。
 - ・韓国観光公社、旅行案内出版業者への働きかけ。
5. 以上に加え所要のデータ更新を行ったうえ、第3刊を刊行。